

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	米の需給調整事業		コード	担当課係
			04-01-01-08	農林振興課管理係
事業実施期間			担当者	中畑喜久弥
			電話	0869-64-1831
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目	農業		
	施策	農業基盤の整備		

事業について	
目的	米の需給と価格の安定を図るために需用に応じた米の計画的生産を推進し、目標配分面積を達成する。
対象(誰のために)	すべての対象水田面積耕作農家
内容	国・県からの目標配分面積を前年転作実績をもとに集落ごとに傾斜配分の方法で行い、生産調整を実施する。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
農家連絡員謝礼	175,000 円		
各種事業調査活動資金	32,000 円		
地域水田農業ビジョンシステム保守委託料	1,236,000 円		
水田農業経営独立対策推進事務費委託料	510,000 円		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,694	国庫補助金等	1,803	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	11,212	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	13,906	一般財源等	12,103	合計	0	一般財源等	0

必要人員	1.61	人
結果指標名	水稻作付面積	
結果指標量	41,132	
単位	a	
対前年比	—	
事業費	1,746,000	円
単位当たりコスト①	42	円

結果指標名	水稻作付面積	
結果指標量	41,132	
単位	a	
対前年比	—	
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果			
成果指標名	目標達成率	式又は説明	水稻作付実施面積 ÷ 作付目標面積 = 達成率
	17年度		
成果指標量	88		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等 米の数量調整実施要綱
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	平成19年度より、この事業の管理が行政から地域水田農業推進協議会へ徐々に移行する中で、よりJAと協力をしながら、地域の農業の実態を正確に把握し、管理していくことが重要である。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	水稻作付面積 41,132 a
結果指標量②	
目標値	成果指標量 88

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	JAと協議しながら、適正な連絡員の数に変更する。	毎年	農家連絡員謝礼の削減
妥当性	農家連絡員の役割の徹底	毎年	担当地域の農地について、再確認を依頼

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。